

地域コミュニティ交通 「ココモ」走ってます

(令和5年度までの予定で継続運行中です)

ココモは、地域が主体となった乗り物で誰でも利用できますので、日常の買い物や通院などにお手軽にご利用ください。
皆様のココモのご利用をお待ちしています！

鳶尾ルートは、毎週  、  曜日

まつかげ台・みはる野ルートは、毎週  、  曜日

それぞれ1日4便運行します。



ココモ とは

「小さく手軽な（コンパクト）」「地域の（コミュニティ）」「移動手段（モビリティ）」
という意味を込めた、地域コミュニティ交通の愛称です。

※ 詳しくは見開きページ及び裏面をご覧ください。



利用のご案内

乗車方法

中面経路図の★印ポイント又は
赤線ルート上（自由乗降区間）

の道路左側の安全な場所でお待ちいただき、
車両が来ましたら手を挙げて
合図してください。

青線ルート上は交通量が多く危ないので
路上での乗降はできません。



★印ポイントにはこのような標識があります。

高尾ルートは緑色、まつかげ台・みはる野ルートは青色の標識です。

運行日

高尾ルートは、毎週月、金曜日
まつかげ台・みはる野ルートは、毎週火、木曜日です。
※ 祝日も運行いたします。

運行車両

8人乗りの
ジャンボタクシーです。
※満員の場合は、ご乗車に
なれません。

料金

1乗車100円

です。
小銭をご用意し、乗車時に
運賃箱に入れてください。
(小学生は50円、
未就学児は無料です。)

○ご利用の際には、マスクを着用してご乗車してください。

○発熱等の症状のある方につきましては、ご利用をお控えください。

乗車カードの利用のお願い

地域コミュニティ交通をより便利なものとする目的として、利用者に配布する乗車カードで利用状況のデータを記録します。データはこの目的以外に使用しませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

お問合せ：厚木市 まちづくり計画部 都市計画課

電話：046(225)2357 FAX：046(222)8792 E-Mail：4600@city.atsugi.kanagawa.jp

鳶尾ルート 経路図・時刻表

毎週 **月、金**

ココモ



時刻表		区間時間	1便	2便	3便	4便
1	Coop鳶尾店	—	9:30	10:40	13:00	14:10
2	クリエイトS・D	4分	9:34	10:44	13:04	14:14
3	たからやフレサ	2分	9:36	10:46	13:06	14:16
4	マルエツ鳶尾店	4分	9:40	10:50	13:10	14:20
1	Coop鳶尾店	2分	9:42	10:52	13:12	14:22
5	荻野公民館	3分	9:45	10:55	13:15	14:25
6	弥生公園	5分	9:50	11:00	13:20	14:30
7	鳶尾東公園	4分	9:54	11:04	13:24	14:34
8	鳶尾北公園	3分	9:57	11:07	13:27	14:37
9	鳶尾団地バス停	3分	10:00	11:10	13:30	14:40
10	鳶尾西公園	2分	10:02	11:12	13:32	14:42
11	J A あつぎ荻野	2分	10:04	11:14	13:34	14:44
4	マルエツ鳶尾店	4分	10:08	11:18	13:38	14:48
1	Coop鳶尾店	2分	10:10	11:20	13:40	14:50

赤線 — 自由乗降区間
青線 — 路上での乗降はできません

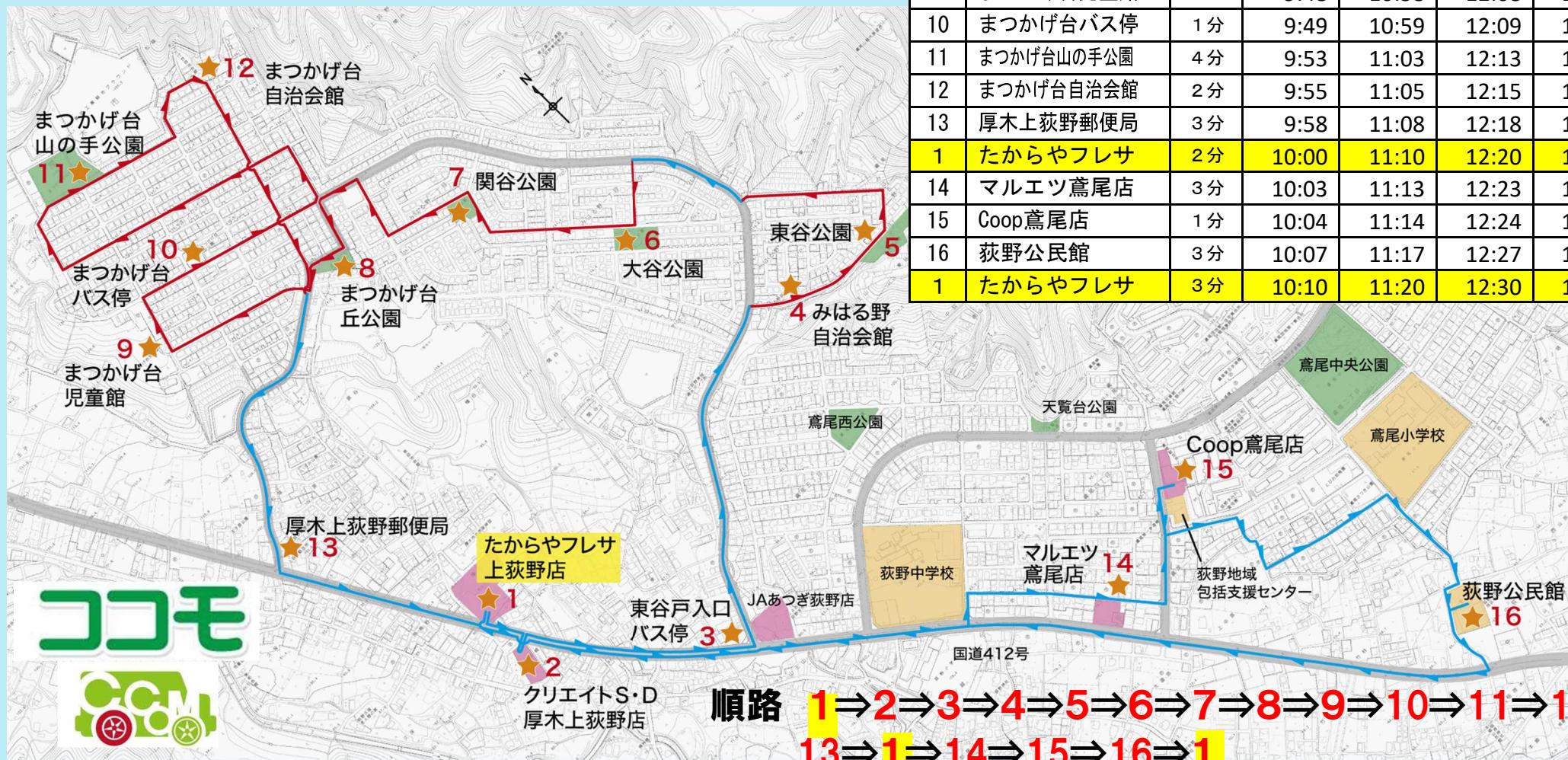


まつかげ台・みはる野ルート

経路図・時刻表

毎週 **火、木**

赤線 — 自由乗降区間
青線 — 路上での乗降はできません



時刻表		区間時間	1便	2便	3便	4便
1	たからやフレサ	—	9:30	10:40	11:50	14:00
2	クリエイトS・D	2分	9:32	10:42	11:52	14:02
3	東谷戸入口バス停	2分	9:34	10:44	11:54	14:04
4	みはる野自治会館	2分	9:36	10:46	11:56	14:06
5	東谷公園	1分	9:37	10:47	11:57	14:07
6	大谷公園	3分	9:40	10:50	12:00	14:10
7	関谷公園	3分	9:43	10:53	12:03	14:13
8	まつかげ台丘公園	3分	9:46	10:56	12:06	14:16
9	まつかげ台児童館	2分	9:48	10:58	12:08	14:18
10	まつかげ台バス停	1分	9:49	10:59	12:09	14:19
11	まつかげ台山の手公園	4分	9:53	11:03	12:13	14:23
12	まつかげ台自治会館	2分	9:55	11:05	12:15	14:25
13	厚木上荻野郵便局	3分	9:58	11:08	12:18	14:28
1	たからやフレサ	2分	10:00	11:10	12:20	14:30
14	マルエツ鳶尾店	3分	10:03	11:13	12:23	14:33
15	Coop鳶尾店	1分	10:04	11:14	12:24	14:34
16	荻野公民館	3分	10:07	11:17	12:27	14:37
1	たからやフレサ	3分	10:10	11:20	12:30	14:40

年間地域コミュニティ交通「ここも」運行助手業務記録

2021年3月～2022年3月までの運行業務各種指標推移

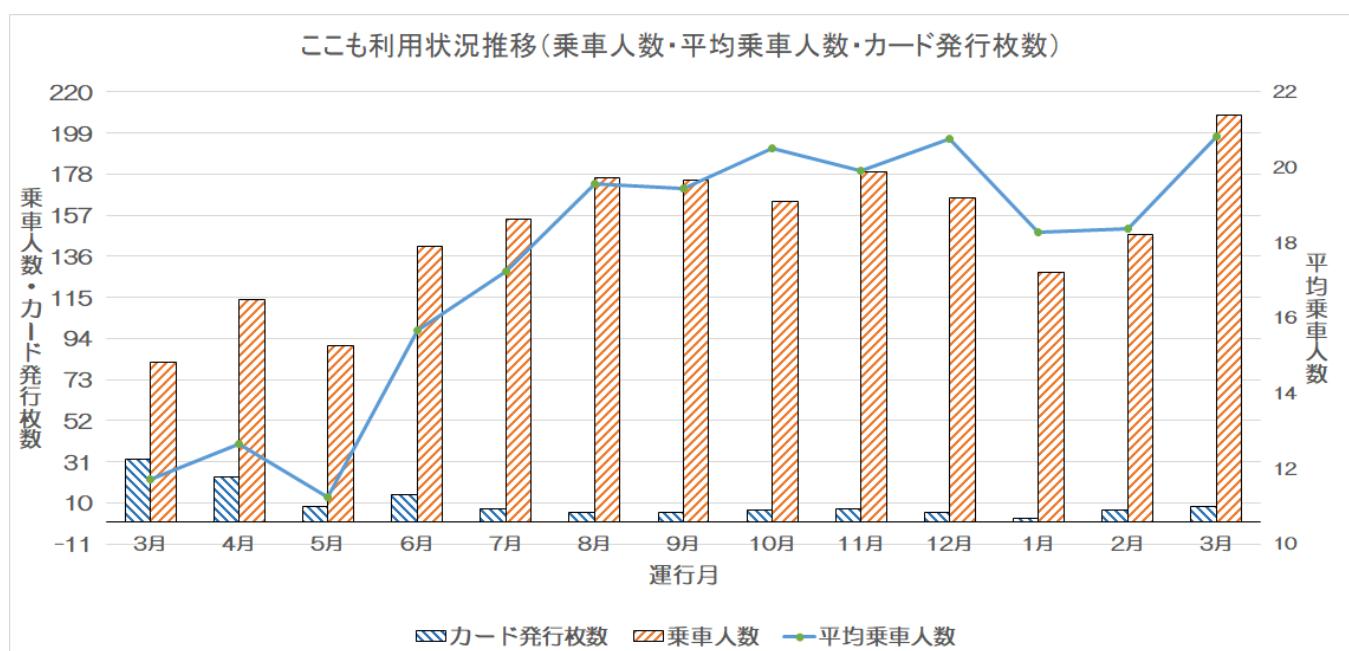
平均乗車人数は雨天に影響される。

3月の雨天は0日、4月は29日で乗車人数6人、5月は13日4人、27日3人でした。

6月は雨天は0日、雪後半は曇りが多い天候でした。いよいよ暑さ到来です。

7月29日フレサ発9人乗車の為助手なし運行、1名は3便に乗車をお願いする。

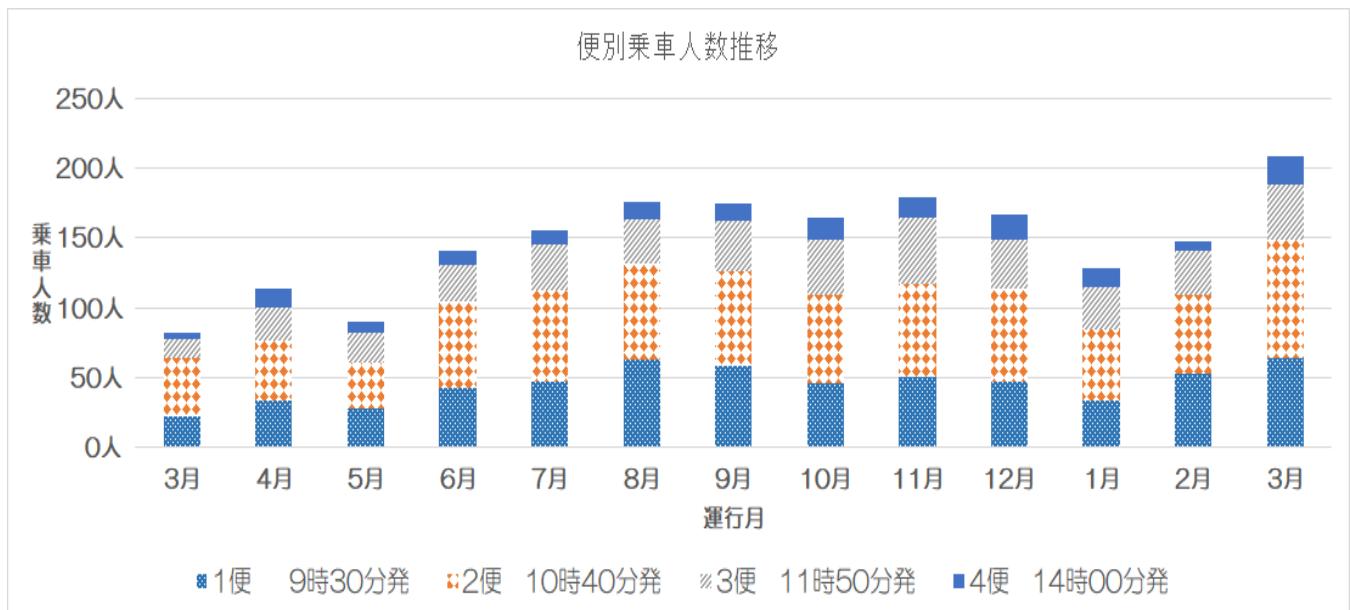
2022年4月1日の厚木市広報誌にココモの記事掲載される。



	令和 2年度	令和 3年度													令和 3年度 合計	年間 合計	
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
適用			32	23	8	14	7	5	5	6	7	5	2	6	8	96	128
カード発行枚数			32	23	8	14	7	5	5	6	7	5	2	6	8	1843	1925
乗車人数			82	114	90	141	155	176	175	164	179	166	128	147	208	1412	440
便数			28	36	32	36	36	36	36	32	36	32	28	32	40	412	110
運行日数			7	9	8	9	9	9	9	8	9	8	7	8	10	103	110
平均乗車人数			11.7	12.7	11.3	15.7	17.2	19.6	19.4	20.5	19.9	20.8	18.3	18.4	20.8	17.9	17.5

+

2021年3月～2022年3月までの便別乗車人数推移



	令和2年度	令和3年度												合計	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
適用	3月	22	34	28	42	47	63	58	46	50	47	34	53	64	566
1便 9時30分発	22	34	28	42	47	63	58	46	50	47	34	53	64	566	588
2便 10時40分発	42	42	32	62	65	69	68	63	67	66	50	56	84	724	766
3便 11時50分発	14	24	22	27	33	31	36	39	47	35	31	32	40	397	411
4便 14時00分発	4	14	8	10	10	13	13	16	15	18	13	6	20	156	160
合計	82	114	90	141	155	176	175	164	179	166	128	147	208	1843	1925

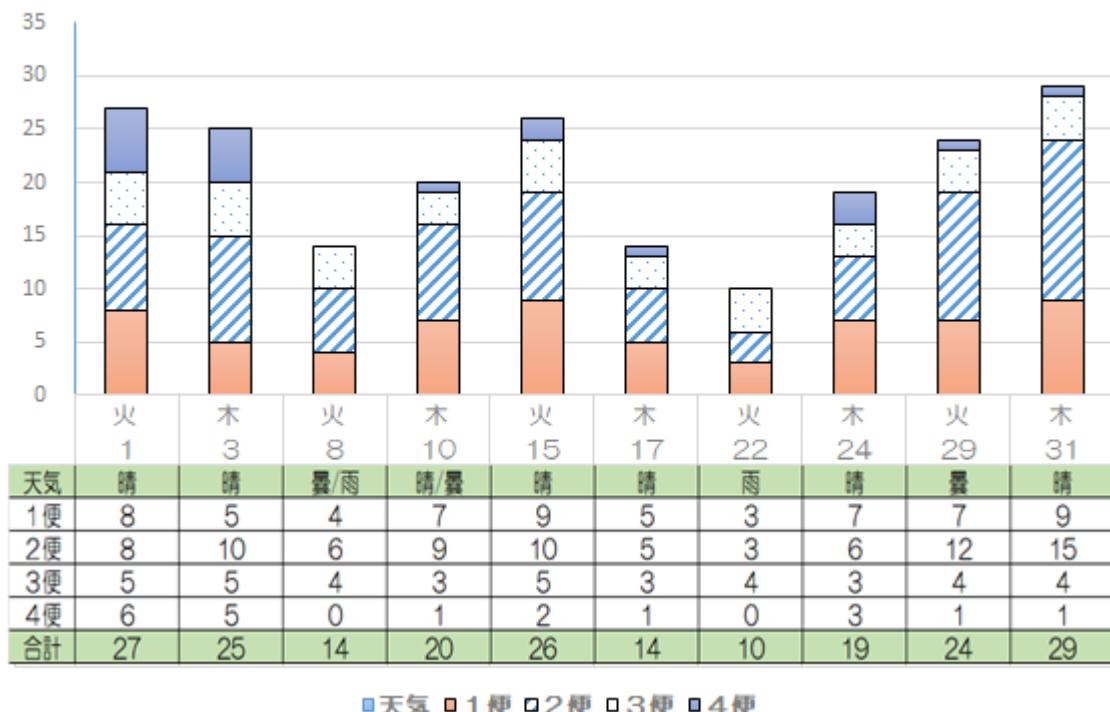
2021年8月

現状認識 1便と2便の利用状況は今後満員の可能性もある。
 7月29日（木）2便がフレサにて9人乗車で満員になる。
 3便と4便は利用者増加の対策が必要になる。
 9月まで暑さによる乗車傾向をみる。

具体策

- コンパクト・プラス・ネットワークの具体化に「荻野ふおーらむ」を設立する
 - 設立趣意書
 - 規約・将来は一般社団法人を目指す。
- 利用目的に合わせたバス停別の店舗案内図を作成して利用者に案内する。
- ミニコミ誌を車内発行して利用者の友人を誘っていただく。
 - A4二つ折り4頁の冊子 2022年度に発行予定

2022年03月ココモ利用者推移



運行業務各種指標

カード発行枚数	8 枚
乗車人数	208 人
延べ便数	40 便
運行日数	10 日
平均乗車人数	20.8 人/日
平均カード登録人数	0.8 人/日

業務コメント

3月1日乗車記録履歴の乗降位置が荻野公民館のみで、正しい乗降場所になっていない。
カードNo127の乗客が大谷公園下車時、タッチセンサー無音。ただし降車記録あり。

3月3日No269も同様

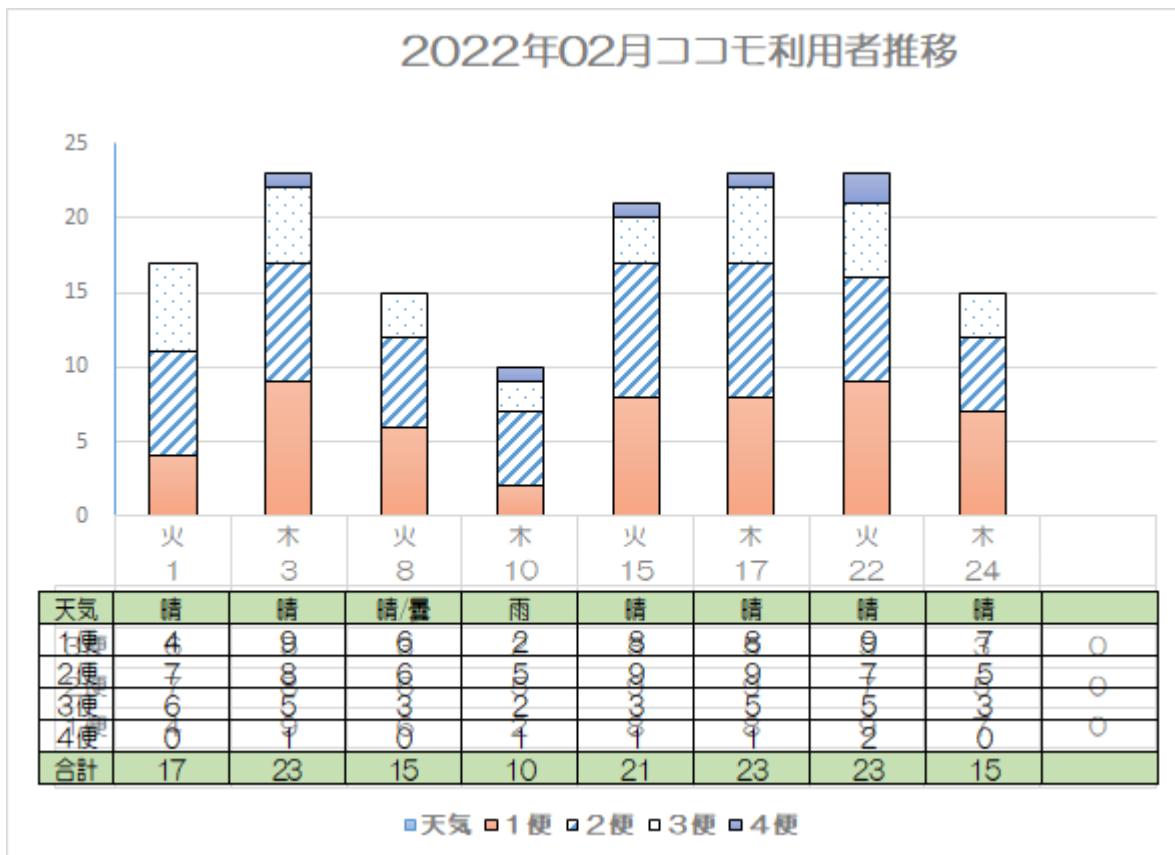
3月7日オリエンタルコンサルタントとココモ情報について聞き取り調査予定。

3月15日1便2名満員の為2便に利用変更していただく。

3月17日昨夜23時30分ごろ東北地方で震度6強の地震発生。

3月24日ココモ関連記事掲載の広報誌届く

2022年02月ココモ利用者推移



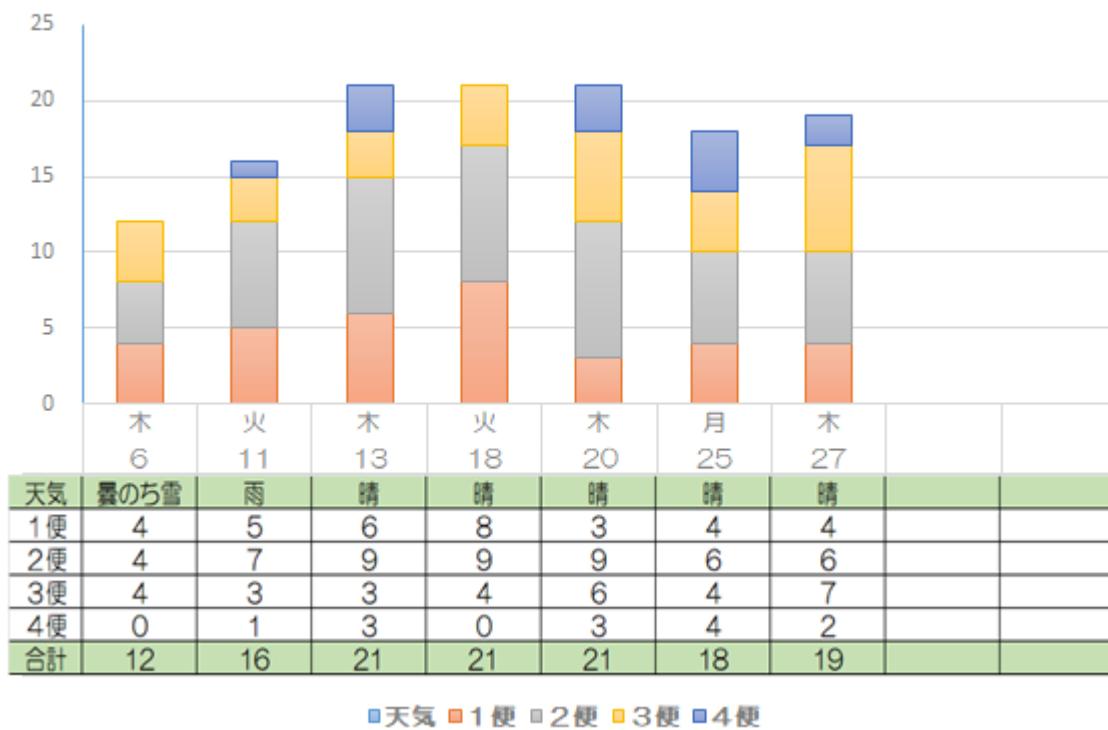
運行業務各種指標

カード発行枚数	6 枚
乗車人数	147 人
延べ便数	32 便
運行日数	8 日
平均乗車人数	18.4 人/日
平均カード登録人数	0.8 人/日

業務コメント

- ・飯山の自宅リフォームの為娘のところに2ヶ月同居のご夫婦新規乗車
- ・スポーツ広場横の上荻野に下る太陽光発電所付近に親子猿出没の車内目撃談
- ・新パンフレット配布
- ・広報インタビュー（2022年4月号掲載予定）

2022年01月ココモ利用者推移



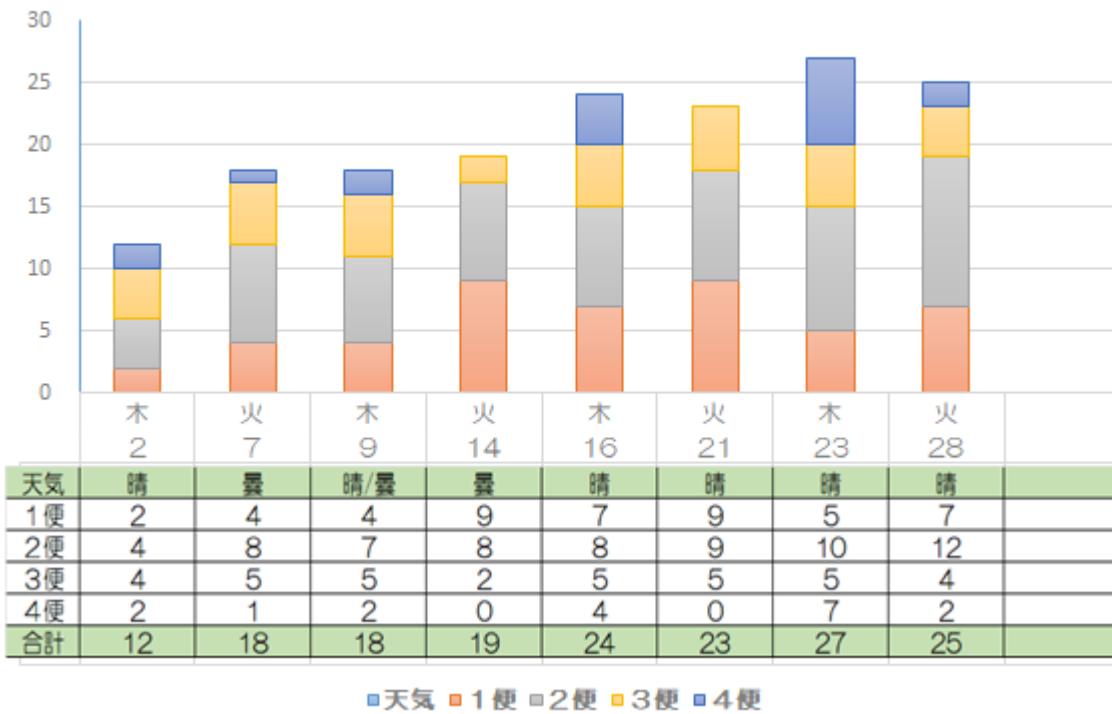
運行業務各種指標

カード発行枚数	2 枚
乗車人数	128 人
延べ便数	28 便
運行日数	7 日
平均乗車人数	18.3 人/日
平均カード登録人数	0.3 人/日

業務コメント

- 年末年始の運行お知らせチラシのバス停からの撤去
- 除菌シルコットの購入
- 93歳の新規登録者（目、耳、は正常、歩行は多少不安とのことだが見た目は普通）
- 海外のお友達へのメッセージにLINE推奨、デモを行う。
- 92歳の新規登録者
- コロナワクチン接種【3回目】が社内の話題に

2021年12月ココモ利用者推移

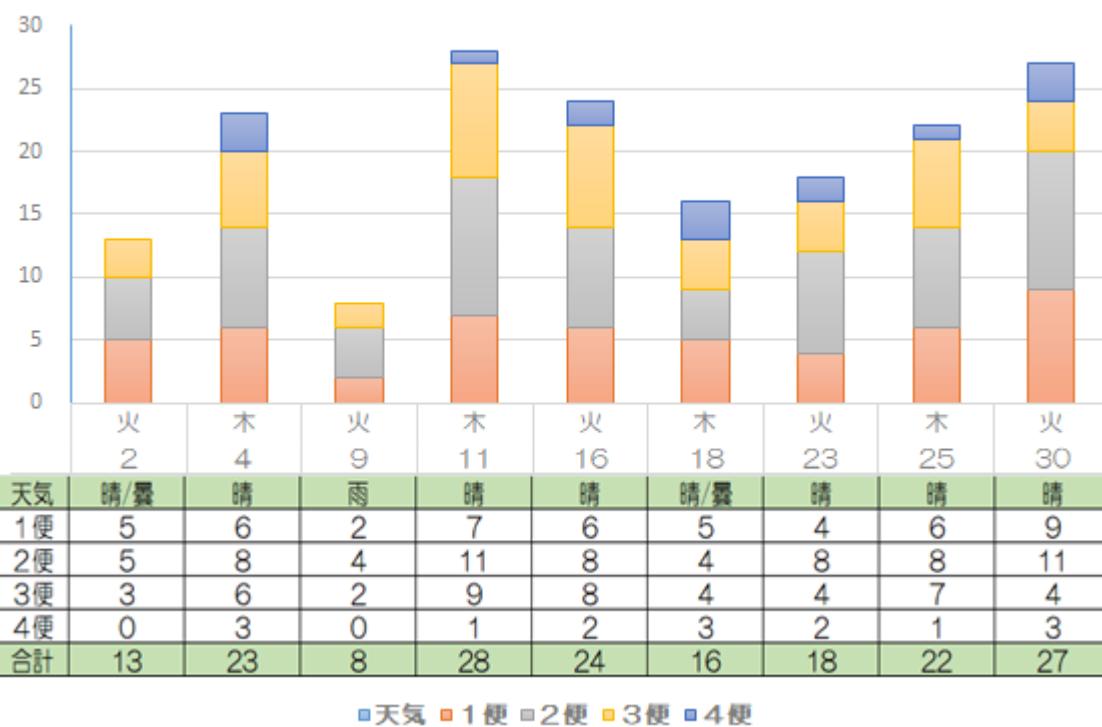


運行業務各種指標

カード発行枚数	5 枚
乗車人数	166 人
延べ便数	32 便
運行日数	8 日
平均乗車人数	20.8 人/日
平均カード登録人数	0.6 人/日

- ・実家の両親宅訪問の娘さん乗車。
- ・12月10日マルエツ跡地に開店予定のパレットが愛川町に開店。
- ・Coop 駐車場で入口車止め2本おろして、コーン2本立てることで回転可能を実証。
- ・年末年始の運行予定表の配布
- ・乗車カード100枚追加〈No301～400〉
- ・フレサ荻野店まで荻野公民館まで行けることに初めて気が付いたという利用者がいた。

2021年11月ココモ利用者推移



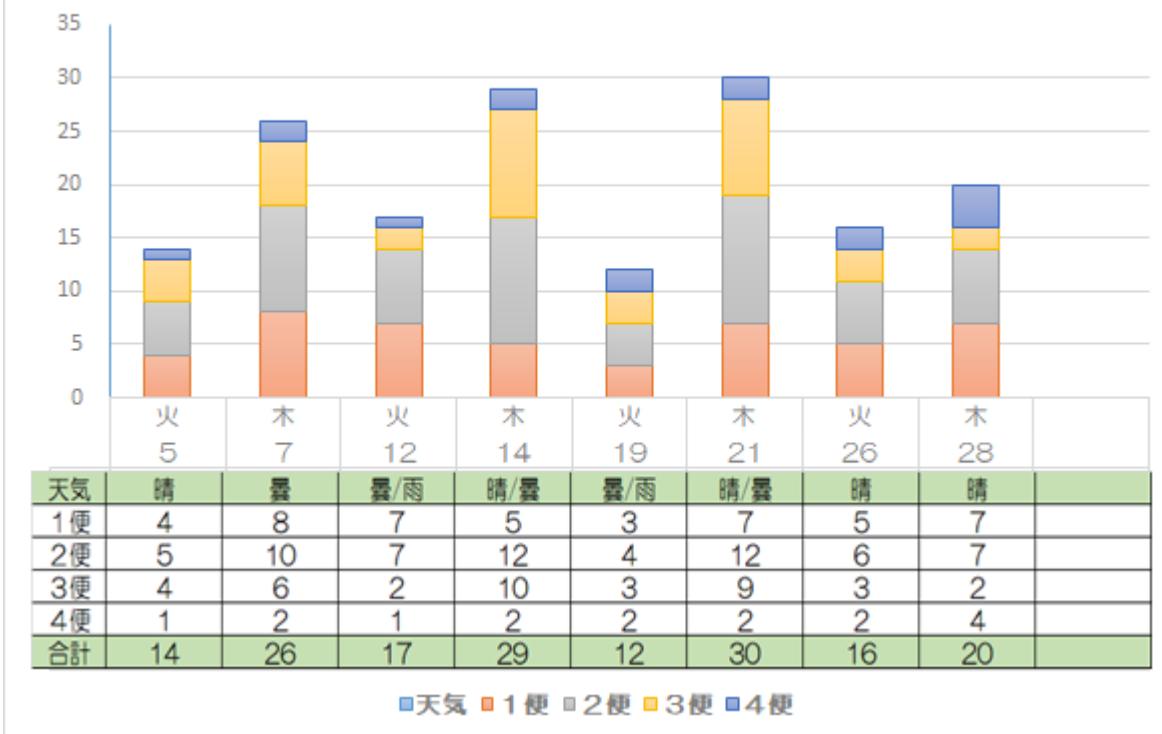
運行業務各種指標

カード発行枚数	7 枚
乗車人数	179 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	19.9 人/日
平均カード登録人数	0.8 人/日

業務コメント

- けがの対応として救急箱を設置する。
- 年末年始の運行予定 2021年12月28日（火曜日）最終便
2022年1月6日（木）年始便

2021年10月ココモ利用者推移



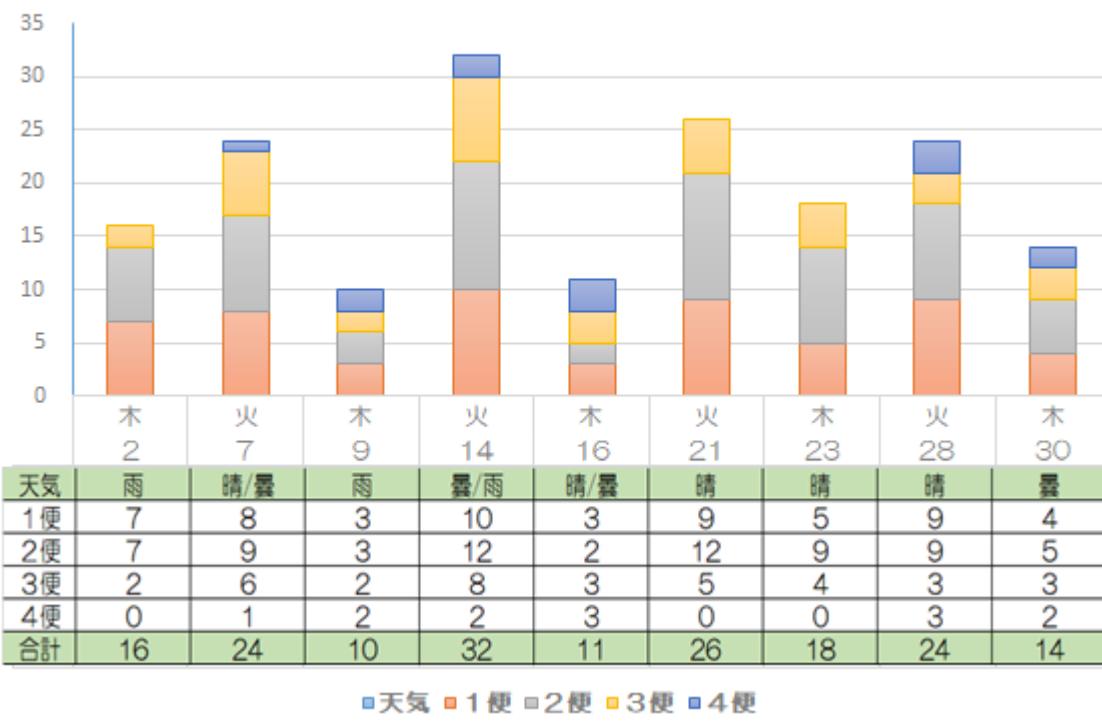
運行業務各種指標

カード発行枚数	6 枚
乗車人数	164 人
延べ便数	32 便
運行日数	8 日
平均乗車人数	20.5 人/日
平均カード登録人数	0.8 人/日

業務コメント

- ・近くに住んでいてもしばらく疎遠な人が「ここも」で会う。
- ・雨上がり、降車時オートステップ2段目で滑りお尻をつく方1名あり。
- ・車内で会話弾む。みはる野地区に高齢者が気軽に相談できる窓口があるとよい。
- ・10月25日東谷公園にサル出没（5-6匹）

2021年9月ココモ利用者推移



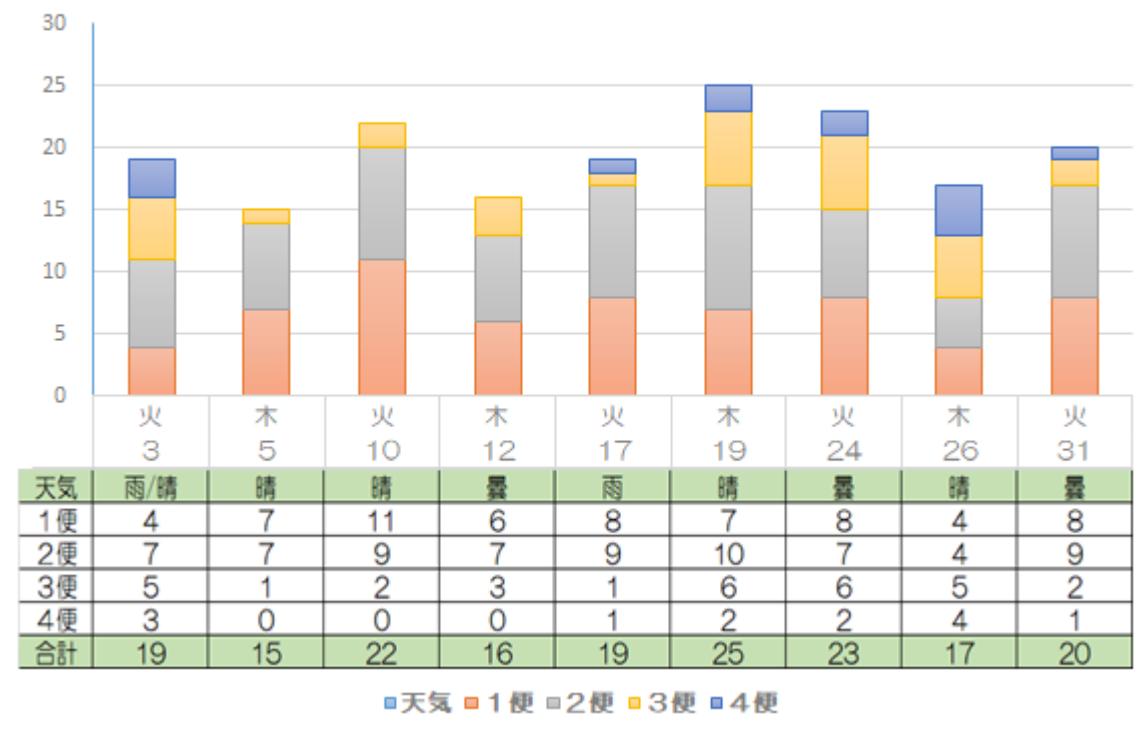
運行業務各種指標

カード発行枚数	5 枚
乗車人数	175 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	19.4 人/日
平均カード登録人数	0.6 人/日

業務コメント

- ・6月～8月で地域にココモが定着した感じがする。利用者は運行時間を頭に入れた行動をとり始めている。
- ：9月14日1便4名、21日1便1名満員で次便に乗車をお願いする。

2021年8月ココモ利用者推移



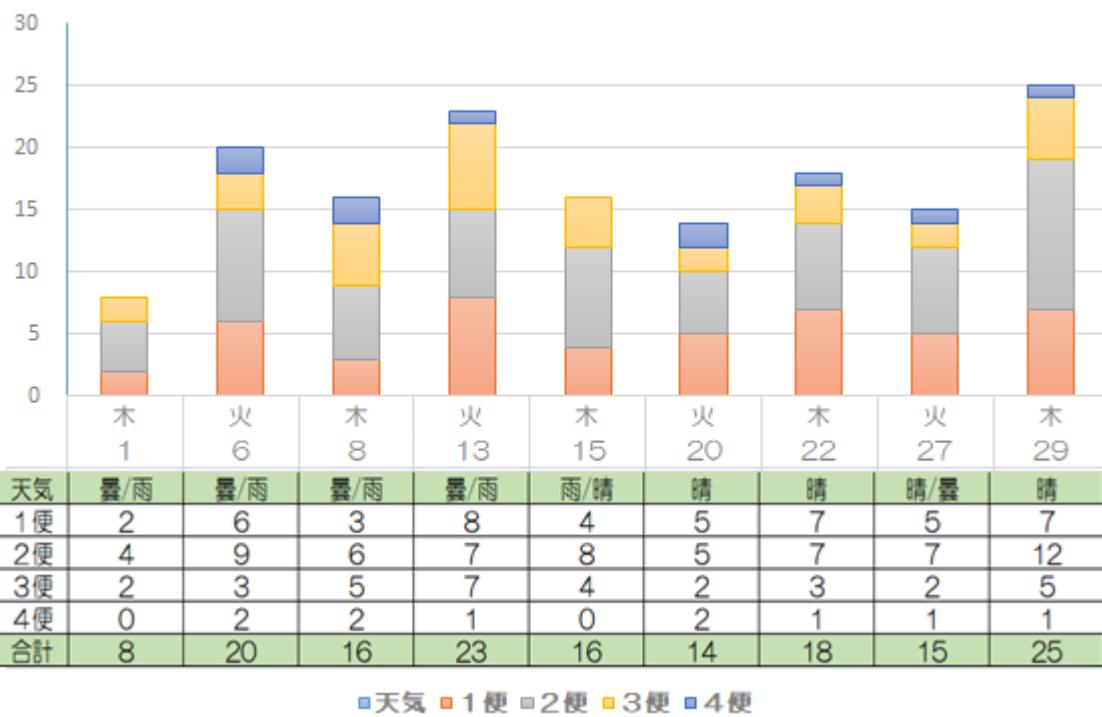
運行業務各種指標

カード発行枚数	5 枚
乗車人数	176 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	19.6 人/日
平均カード登録人数	0.6 人/日

業務コメント

- ・毎回利用する常連さんが利用しないので様子を確認。息子さんより体調不良の言あり。
- ・8月10日1便及び2便とも満員の為お断り発生。
- ・コロナ対策 ①乗車時の手指の消毒（利用者随意） ②各便毎の手すり等の消毒
③運行時の車内のオゾン消毒 ④運行後の車内の消毒

2021年7月ココモ利用者推移



■天気 ■1便 ■2便 ■3便 ■4便

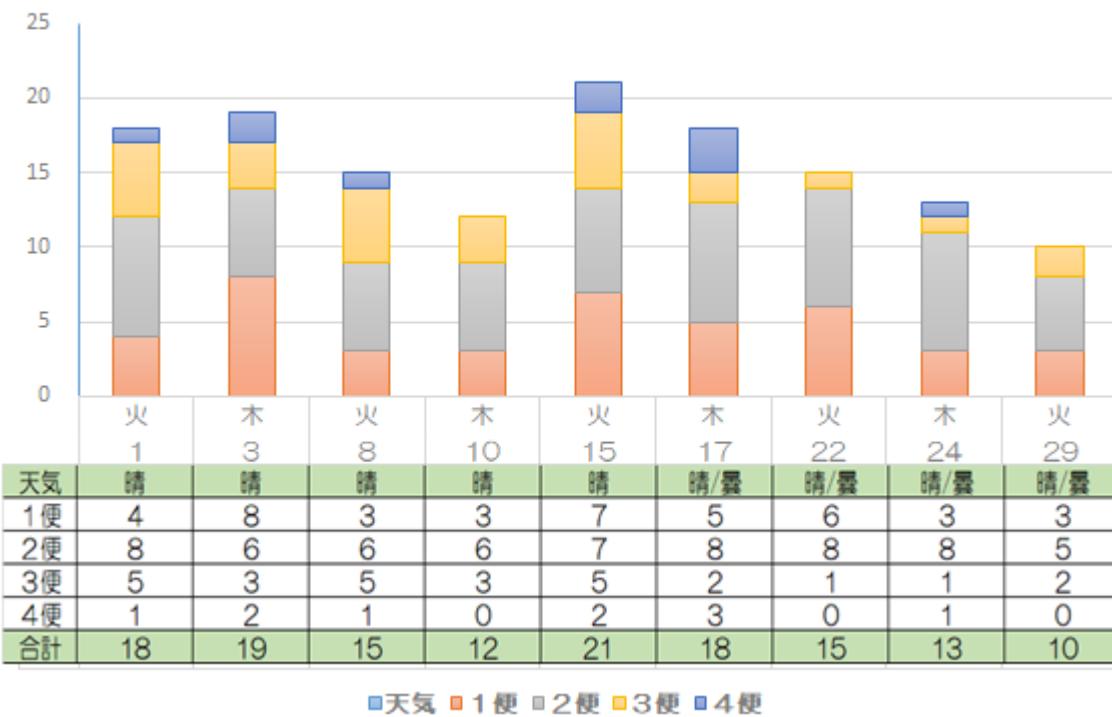
運行業務各種指標

カード発行枚数	7 枚
乗車人数	155 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	17.2 人/日
平均カード登録人数	0.8 人/日

業務コメント

- ・1丁目と2丁目の友人同士が久しぶりに社内で交流する。
- ・Coop⇒フレサ（帰宅は徒歩・往復徒歩の回避策として利用と話している）
- ・まつかげ台⇒マルエツ⇒神奈中バスで（厚木へ⇒久保で下車）⇒フレサから4便で帰宅
- ・3便と4便を使いクリエイトとフレサでしっかり買い物
- ・7月29日2便フレサ発9人乗車により助手梨運行、
クリエイト1名は満員につき3便に乗車をお願い。

2021年6月ココモ利用者推移



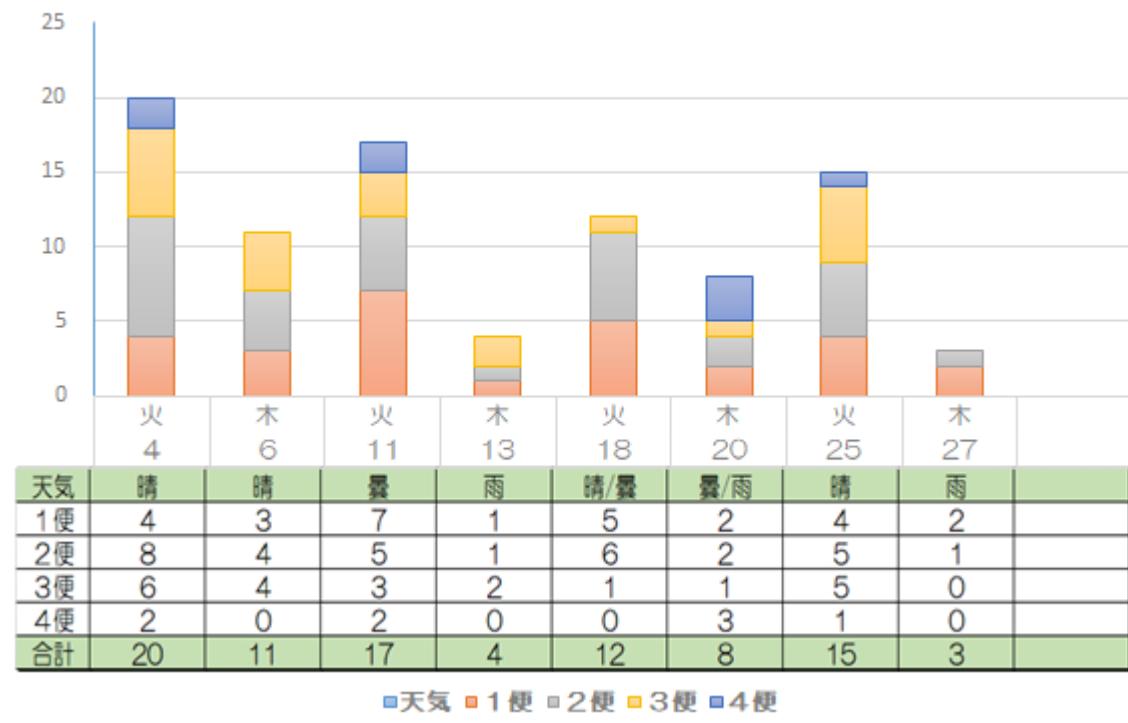
運行業務各種指標

カード発行枚数	14 枚
乗車人数	141 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	15.7 人/日
平均カード登録人数	1.6 人/日

業務コメント

- ・関谷（みはる野）⇒マルエツ(Happy 美容院) 1名
- ・荻野公民館⇒みはる野自治会館（美化清掃ビニール袋）お届け
- ・みはる野・まるかけ台⇒荻野公民館（図書返却又は貸出）10分ほど停車の余裕あり
- ・住友医院でワクチン接種後フレサから乗車
- ・助手が顔見知りであれば高齢者は安心して利用する。
- ・第4便でフレサからみはる野又はまつかけ台に帰る人を乗継特別便で送る企画は？
- ・第3便で昼食（例えば相模）第4便でお迎えして、乗継特別便で送る企画は？

2021年5月ココモ利用者推移



運行業務各種指標

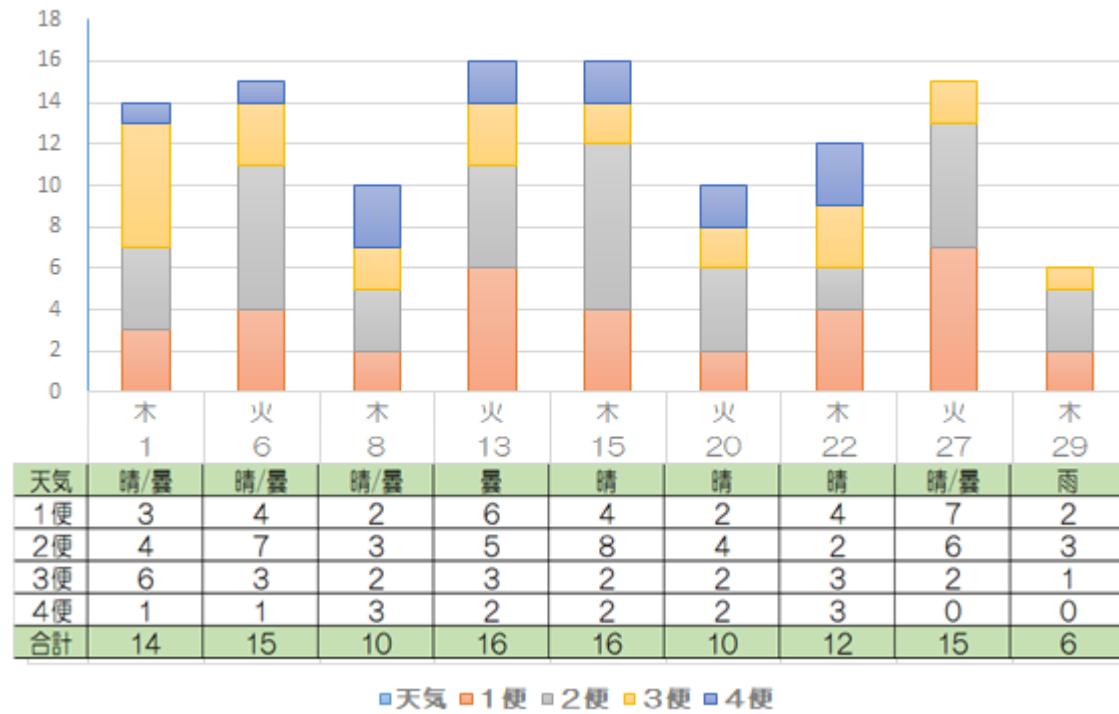
カード発行枚数	8 枚
乗車人数	90 人
延べ便数	32 便
運行日数	8 日
平均乗車人数	11.3 人/日
平均カード登録人数	1.0 人/日

業務コメント

- ・フレサからクリエイトに向かう利用者を運転手が横断歩道に誘導した。
- ・ここも2ルートを試乗見学者あり。
- ・料金箱に150円投入と申告した利用者あり。(精算時利用者数と料金は一致を確認)
- ・まつかげ台みはる野ルート巡回後鳶尾に向かうときみはる野に帰りたい利用者がいた。フレサの時刻表をまつかげ台みはる野方面と鳶尾方面に分ける等対策が必要。

2021年4月地域コミュニティ交通「ここも」運行助手業務記録

2021年4月ココモ利用者推移



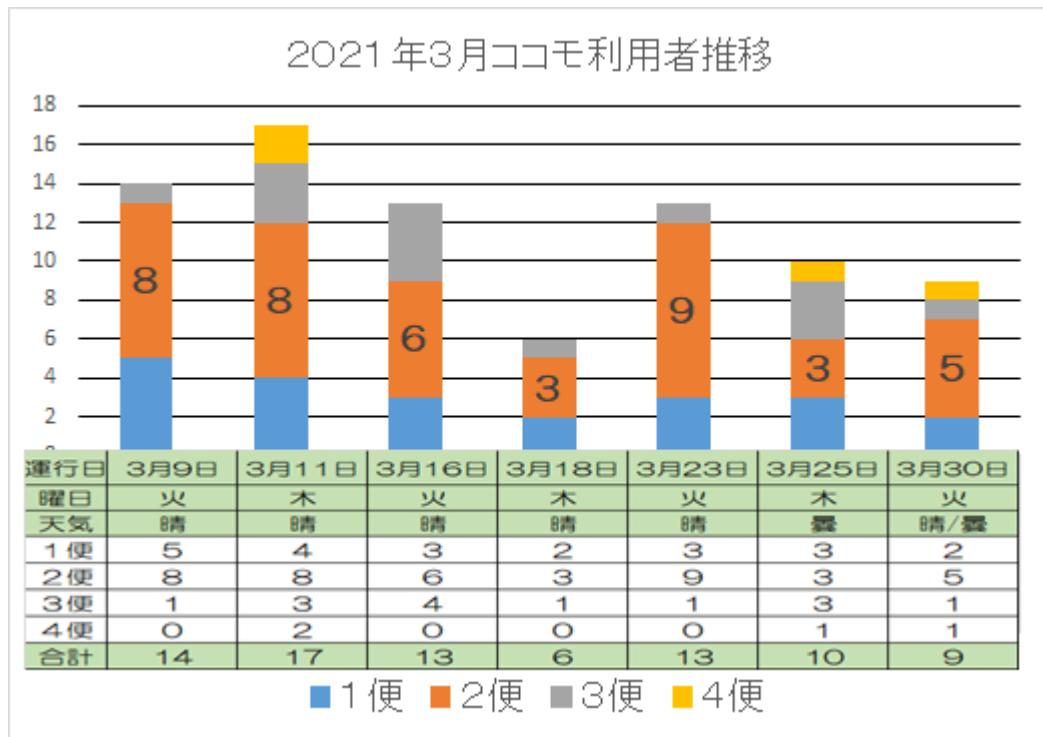
運行業務各種指標

カード発行枚数	23 枚
乗車人数	114 人
延べ便数	36 便
運行日数	9 日
平均乗車人数	12.7 人/日
平均カード登録人数	2.6 人/日

業務コメント

- ・4便後帰途、リュックを背負ってまつかけ台に帰る高齢者に4便に乗れると案内する。
- ・4便のフレサ終着時、みはる野の住人が荻野公民館からバスでフレサに来て買い物後4便で乗り継ごうとしたので今後の利用方法を案内した。
- ・さがみ、住友病院停車希望あり。15時以降の運行希望あり
- ・荻野地区地域福祉推進委員会のサービス部会に地域コミュニティ交通の紹介をする。

2021年3月地域コミュニティ交通「ここも」運行助手業務記録



2021年3月まとめ

適用	値
カード発行枚数	32枚
乗車人数	82人
便数	28便
運行日数	7日
平均乗車人数	11.7人/日
平均カード登録人数	4.6人/日

業務コメント

- 買い物にバスの便が不便だったので助かる。
- 他地区の人から運行主体について聞かれたのでパンフレットを渡し厚木市と伝えた。
- うちのお嫁さんも利用できるのですかとの問い合わせにどなたも利用可能です伝えた。



住まいの近くで買い物を



バスの利便性を向上



安全に暮らせる

「コンパクト・プラス・ネットワーク」で目指すまちづくり



地域での移動手段を充実



「自分たちのまち」という意識で

都市計画審議会会長
東海大学 梶田 佳孝教授 (50)

コンパクト・プラス・ネットワークを推進することは、地域の人口密度を高め、地域ごとの結び付きを強めるため、コミュニティの維持や発展が期待できます。少子高齢化で人口が減少し、コミュニティの希薄化が懸念される社会では、果たす役割は非常に大きいです。

ただ、行政だけの力では、目指すまちの姿には近づけません。大切なのは、市民の皆さんもまちづくりと一緒に取り組むことです。「このまちは自分たちのまち」という意識を持って、積極的にまちづくりに参加してほしいです。

市が目指すのは、住まいと生活に必要な施設の距離を近づけ、バスなどの公共交通の利便性を高めるまちづくりです。市では、事業者の出店などを後押しする「生活利便施設立地促進事業」や、危険なエリアからの移転を支援する「居住誘導区域（かけ地近接等危険住宅）移転事業」（下欄参照）を開始。より快適で安全なまちづくりを進めています。

全国的に少子高齢化が進む中、人口とともに労働者や消費者が減り続けると、地域で生活に必要な施設の維持は難しくなります。市の意見交換会などでも、買い物や移動の不便さを訴える声が出ています。特に、生活基盤であるスーパー・マーケットや診療所、公共交通機関などの確保は、行政と市民が一体となって考えなければいけない課題です。現状を踏まえ市では、より暮らしやすく持続可能なまちを目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」を策定しました。

地域の特徴を生かしたまちづくり

誰もが快適に移動し、地域で暮らし続けられるよう、住まいと生活に必要な施設の距離短縮や、バスの利便性向上などを目指します。皆さんからの声を取り入れながら、一緒にまちづくりを進めていきます。

厚木市は、大きな公園がある、主要道路にアクセスしやすいなど、地域ごとに特性がある。中心市街地に居住地を一極集中させるのではなく、バスで移動しやすい利点を生かし今あるものを充実させていくことが大切」と話します。

市民協働で理想のまちへ

市内はバス路線が豊富で、多くの路線バスが運行する一方、いつも混雑している、住まいの近くに路線がないなどの声もあります。そこで市では、バス停の設置や、移動手段の充実に向けたコミュニティ交通の導入も検討。交通の利便性を高め、誰もが快適に移動できる仕組みを整えます。

交通利便性をさらに向上

①生活利便施設立地促進事業 県内初

スーパー・マーケットや診療所などの施設が不足している地域に立地をする事業者に補助金を交付します。

対象補助対象区域内に、スーパー・マーケットやドラッグストア、コンビニ、診療所を新規出店または開業などをする事業者**補助上限額**①スーパー・マーケット=1億円②ドラッグストア=5千万円③コンビニ、診療所=2千万円 ※補助金額は施設備費の2分の1と5年分の土地・建物賃借料の合計額または補助上限額のいずれか小さい額

②居住誘導区域（かけ地近接等危険住宅）移転事業 県内初

災害リスクの高いエリアから移転する方に、除却費や移転費などの一部を補助します。

対象市で定める危険区域に住み、既存の住宅を除去し、市内の安全なエリアへ移転する方**1戸当たりの補助上限額**①除却費=97万5千円②建物助成費（借入金利子への助成）=421万円③移転費=50万円（移転先が居住誘導区域の場合に限る）

申①②いずれも事前相談が必要なため、電話またはEメールで都市計画課 4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

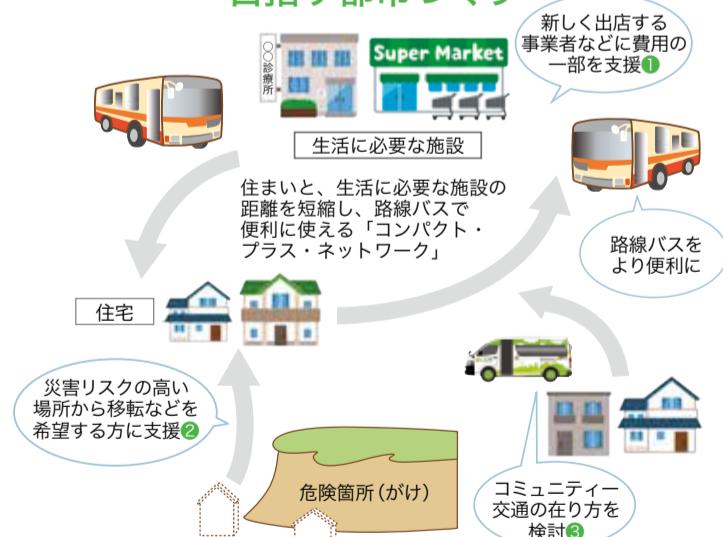
③コミュニティ交通検討事業

地域の移動手段を確保するため、必要性が高い地域でコミュニティ交通の導入が検討されています。

●コミュニティ交通の取り組み 買い物や通院などの移動手段を充実させる取り組み。市内では「まつかげ台・みはる野」「鳶尾」の2カ所でコミュニティ交通「ココモ」の運行を始めています。

●地域が主体となって運行 コミュニティ交通は、地域の皆さんが主体となり運行する仕組みです。実際に合わせ地域に合った交通を市と協働で取り組みます。

コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画で 目指す都市づくり



4月から開始 住宅などの建築・休廃止の届け出

計画の実現に向け、住宅開発や誘導施設などの動きを把握するため、次の場合に市への届け出が必要です。

- ・居住誘導区域外での一定規模の住宅の建築
- ・都市機能誘導区域外での誘導施設の建築
- ・都市機能誘導区域内での誘導施設の休廃止

※誘導区域や誘導施設一覧などは市HPに掲載

厚木・愛川・清川版掲載号:2022年2月18日号

毛利台地域タクシー券で実証実験高齢者47人がモニターに

社会

【毛利台地域のデマンドタクシー実証実験】

(2月28日まで)

- モニター対象者 75歳以上の高齢者
- 1回の乗車で1枚400円引きとなるチケットを一人8枚配布
※2人で乗り合い乗車すると2枚=800円引き
- 利用は乗車または降車が毛利台地域内であること

厚木市が新たなコミュニティ交通の取り組みとして毛利台地域で「デマンドタクシーチケット制度」の実証実験を行っている。モニターにチケットを配布しタクシー料金を補助する仕組みで、利用者の声を踏まえて効果を検証する。期間は2月28日(月)まで。

実証実験の対象である毛利台地域は、住宅団地の造成から40年以上が経過し、居住者の高齢化が進んでいる。市では、2021年9月に同地域で交通に関するアンケートを実施した。

この結果、高齢者では運転に自信がない人がいることや、既に運転免許を返納している人がいることなどから、実証実験の対象者を75歳以上とした。また、高低差のある地形のなか、日常の買い物をする店舗が点在していることや、道幅などの道路環境も加味し、固定した運行ルートでのジャンボタクシーやマイクロバスではなく、既存のタクシーを活用した。

利用者から「ありがたい」

現在行われている実証実験には、モニターとして47人が参加している。

1人につき8枚のチケットが配布され、市が指定している事業者のタクシーを使用する際に1回の乗車で400円引きになる。

利用時間は午前9時から午後4時まで、乗車か降車のどちらかが毛利台地域内である必要がある。なお、乗り合いで2人乗車する場合はチケットが2枚使用できるため、80円引きとなる。市ではコミュニティ交通導入検討事業費として今年度269万4千円の予算を計上している。

担当の市都市計画課によると、買い物や通院などで利用する人も多く、モニターからは「タクシー料金が安くなっている」という声が寄せられているという。同課では「タクシーを身近に使っていただけたらと思います。実験後はモニターのご意見を聞き、次年度以降も取り組んでいけたら」と話す。

誰もが快適に移動するためにコミュニティ交通の運行に取り組んでおり、昨年荻野地区でジャンボタクシーによるコミュニティ交通「ココモ」の運行を開始し、利用者も増加傾向にあるという。同課では「バス路線網と地域に合ったコミュニティ交通などを組み合わせ、交通の利便性を向上していきたい」と話す。



実証実験のタクシーチケット



2

住まいと生活利便施設をより近く

誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち

暮らし続けられる住環境や施設、交通網の整備に取り組みます。

目玉事業

持続的に発展し続ける都市づくりのために

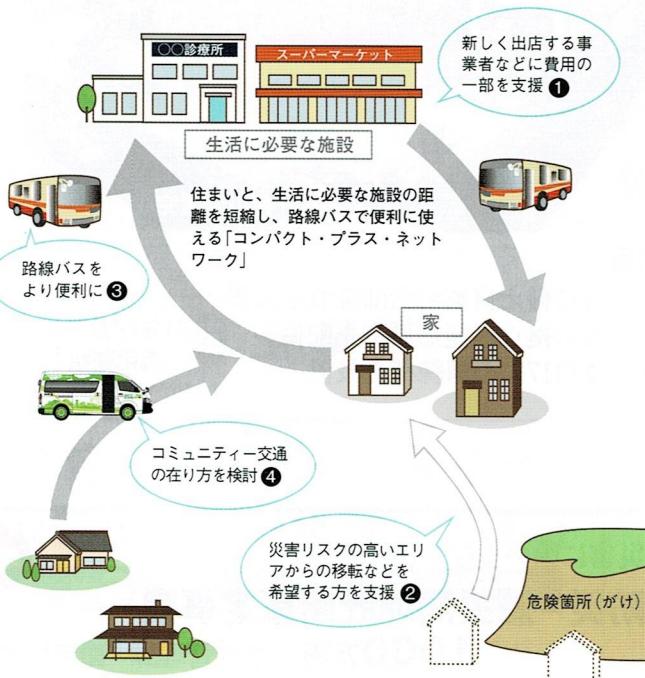
コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業

新規

約4738万円

都市計画課

人口減少や超高齢社会の進展に備え、地域で快適に暮らせるよう、生活に必要な店舗や診療所の開設の促進、移動手段の確保などに取り組みます。



①生活利便施設立地促進事業

県内初

スーパーや診療所などが不足している地域で新しく出店などをする事業者に対し、施設整備費などの一部を支援

②居住誘導区域(かけ地近接等危険住宅)移転事業

県内初

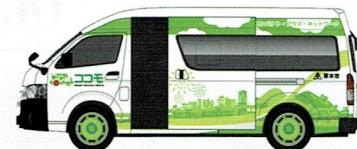
災害リスクの高いエリアからの移転などを希望する方に対し、除却費などの一部を支援。市で定める居住誘導区域内に移転する場合は、移転費などの一部も支援

③公共交通利便性向上事業

中心市街地へのアクセス性向上や路線バスの定時性、速達性確保のため、国道246号水引交差点付近のバス路線の交通混雑解消に向け、信号制御やバスレーンなどの検討を実施。また、交通混雑緩和の効果を検証し、最適な信号の案を作成

④コミュニティ交通導入検討事業

必要性が高い地域の特性に合った運行方法を検討



厚木環状3号線は、いよいよトンネル工事が完了

街路整備事業

約20.4億円 道路整備課

安全で快適な交通ネットワークを形成するため、厚木環状3号線・本厚木下津古久線などの都市計画道路を整備します。

22年
一部開通